

めあて

日本語について書かれた文章を読み、学習の見通しをもとう。

教科書96ページの図を拡大したもの

感想

(例)・「雨のいろいろ」は、雨の呼び方について書かれている。

・「数え方でみがく日本語」は、ものの数え方について書かれている。

・どちらも日本語について書かれている。

⑨	/	意見文を読み合い、学習をふり返る
⑧	/	日本語についての考えを意見文にまとめる
⑦	/	日本語についての考えを意見文にまとめる
⑥	/	意見文のテーマを決定し、原こうメモを作成する
⑤	/	意見文のテーマを決定し、原こうメモを作成する
④	/	「数え方でみがく日本語」だけに使われている「説明の技」を読み取る
③	/	二つの文章のどちらにも使われている「説明の技」を読み取る
②	/	二つの文章の要旨を読み取る
①	/	学習の見通しをもつ

【1 / 9 時間目 指導路案】 使用するワークシート「豊かな日本語の使い手になろう」① 活動のねらい

日本語について関心をもち、学習の見通しをもたせるようにする。

※ 事前に、日本語の特性について書かれている本を教室に並べておきます。(別紙「関連図書一覧表」を参照してください)

1 小学校での国語の学習を振り返らせる。

○ 教科書九十六ページの図を見せながら、これまでに国語で学習してきたことを振り返らせる。

※ 一年生から六年生までの国語の教科書を見せながら準備させておくと、これまでの学習を振り返らせるのに便利です。グループに一セットあれば十分です。

2 「雨のいろいろ」「数え方でみがく日本語」を読み、感想を発表し合う。

○ 二つの教材文を読み、感じたことや気付いたことなどをワークシートに書かせる。

○ どちらも日本語の特性について書かれている文章であることに気付かせる。
 ※ 二つの教材文をA3用紙一枚に上下に並べて印刷した物を配布しておくこと、比べながら読ませるのに便利です。それを拡大印刷して教室内に掲示することもできます。

3 学習の流れを確認する。

○ 黒板に学習計画表を提示し、日本語について考えたことを意見文にまとめることを伝える。

○ 教材文のそれぞれの筆者の叙述の工夫(「説明の技」)を読み取り、それを生かして意見文にまとめるという学習の見通しをもたせる。

※ 児童全員分の意見文を卒業文集に掲載することを知らせることで、小学校の国語の学習の総まとめであるという意識をもたせることができます。

4 本時の学習の振り返りをして、次時の学習について見通しをもつ。

○ この学習でがんばりたいことをワークシートに書かせる。

評価 日本語について関心をもち、見通しをもって学習に取り組もうとしている。

(関)

○ ワークシートで自己評価をさせる。

○ 次時は、二つの文章の要旨を読み取っていくことを知らせる。